

草の根技術協力（地域活性化特別枠）事業概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	マレーシア国
2. 事業名	ASEAN のモデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>先行したプロジェクトの成果で、特に住民の意識やライフスタイルの変革に関わる部分について、学校等の教育機関を中心に教育や啓発を継続的に行っていく体制は確立しつつあります。しかしながら、個々に行われる学校やコミュニティの取組をさらに高めていくための環境教育・環境活動に特化した中間支援や人材育成の機能が未整備であること、さらには学校等に限らず、広く環境教育・環境活動を進めるための情報発信を行う拠点機能が未整備であることが課題であると言えます。これまでの取組の中でも一定の成果を出している当該地域ではありますが、このような拠点機能が整備されることで、学校やコミュニティでの取組のレベルをもう1段上げることができ、さらにこれまでの取組ではカバーすることのできなかった一般住民や就学前の児童等へのアプローチが可能になります。</p> <p>また、この拠点機能を整備すること及び京都市施策を踏まえて ASEAN 域内自治体等の環境行政・教育担当者を対象とした研修を実施することで、環境教育や環境活動の推進を学校、コミュニティ、行政、事業者、その他の多くのステークスホルダーとのより強固なパートナーシップで進めることができようになり、これはマレーシア国内でのモデルになることはもちろん、ASEAN 地域のモデルにもなりえる大きな可能性を持っていると考えます。</p>
4. プロジェクト目標	低炭素社会実現に向けた環境教育・環境保全活動のためのプログラム開発と実施、人材育成、及び関係団体間の連携を促進する拠点施設が自立的に機能している。
5. 対象地域	ジョホールバル市を中心とし、周辺のイスカンダル開発地域及びジョホール州
6. 対象地域を管轄する在外公館（大使館、領事館、領事事務所）	在マレーシア日本国大使館
7. 受益者層（ターゲットグループ）	<p>【マレーシア国】 ジョホールバル市職員（環境教育施設勤務 7 名及び関連部署）、ジョホールバル市及び近隣（イスカンダル開発地域、ジョホール州）の市民、小学校（ジョホール州内に 907 校／児童数 328, 086 名）及びセカンダリースクール（ジョホール州内に 280 校／生徒数 253, 931 名）の教員・児童・生徒、環境活動・地域コミュニティ活動団体</p> <p>【東南アジア】 環境教育・環境保全活動の推進の実践を行う意欲があり、取組を牽引できる自治体職員</p>
8. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 拠点施設におけるプログラム開発と実施・展示開発と解説 が自立的に行われている。 2. 拠点施設における人材育成が自立的に行われている。 3. 拠点施設を核として当該地域及び周辺地域における関係団体間の連携が促進されている。 4. 東南アジアの地方自治体や環境教育実践者等にマレーシアでの実践モデルのノウハウが提供されている。 5. 本プロジェクトでの成果や教訓が京都市を始めとした市民に共有され、またプロジェクトを通じて関わった自治体と京都市との交流が促進されている。
9. 実施期間	2021 年 10 月～2025 年 1 月（3 年 3 ヶ月）
10. 事業費概算額	58,971 千円
11. 日本側の実施機関	公益財団法人京都市環境保全活動推進協会
12. 相手国実施機関	ジョホールバル市、イスカンダル地域開発庁、ジョホール州教育局
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体名）	京都市
2. 活動内容	京都市の環境学習・環境保全活動の拠点施設である京都市環境保全活動センター（京エコロジーセンター）の事業、京都市内の全学区（地域コミュニティ）を対象にした地域での環境活動を支援する「エコ学区」関連事業、京都市内の全市立小学校で展開している環境教育プログラム「こどもエコライフチャレンジ」推進事業の実施等を行っています。